

# 先端技術で進化する警備サービス

平成28年2月23日

総合警備保障株式会社  
執行役員 商品サービス企画部長  
桑原 英治



1. 警備業とICT
2. 先端技術を活用した警備サービス
3. 「警備」の枠を超えたソリューション
4. 本WGに期待すること

# 1. 警備業とICT

- 警備業は常駐警備や交通誘導などマンパワー依存というのが一般的なイメージ
- しかしながら、現在の警備は「モノ」と「情報」と「人」の高度な連携により成立
- ICT利用の高度化がサービス品質の向上に直結

## ALSOKの機械警備

## 監視センター

異常検知・警報  
7億6,000万件/年

出動300万回/年  
保守86万回/年

## 対象施設

センサー  
176万ヶ所  
1,010万個

## 隊員

待機所  
2,400ヶ所

警報受信から**25分以内**に駆け付け（警備業法）

お客様の施設にセンサーを設置し建物侵入や火災等の異常を検知。  
監視センターで異常を受信し、警備員が現場へ急行し初期対応、必要に応じて警察・消防に通報する。

- 事務所、住宅、駐車場、遊園地等での事故発生を警戒
- 侵入盗防止、情報を含めた財産の保全



施設の常駐警備



機械警備



ICTを活用した新たな隊員指令システムにより隊員のかげつけをより早く、効率的に



ガードセンターの監視システムがお客様からの警報を感知すると、隊員指令システムから現場の一番近くにいる隊員をGPSの位置情報から自動で確認し、隊員のタフスマホに直行指示を通知。

- 道路工事、建築工事、高速道路での事故防止
- 都市空間や大規模イベントでの雑踏事故防止



片側交互通行の交通誘導



大規模イベントでの雑踏警備

AI、ドローン等の活用により、空間・雑踏における警備を高度化

## ALSOゾーンセキュリティマネジメント



ウェアブルカメラとモバイル端末を身につけたガードマンが、自律走行型の警備ロボットやドローン（無人飛行機）、監視カメラ、センサーなどの機器と連携して動く。全ての情報はコントロールセンターに集約。



- 現金・貴重品の物理的移動の保全(強盗等防止)
- 現金処理のアウトソーシング(金融機関、小売・流通業)
- 原発、核燃料輸送等における事故防止、テロ防止



警備輸送



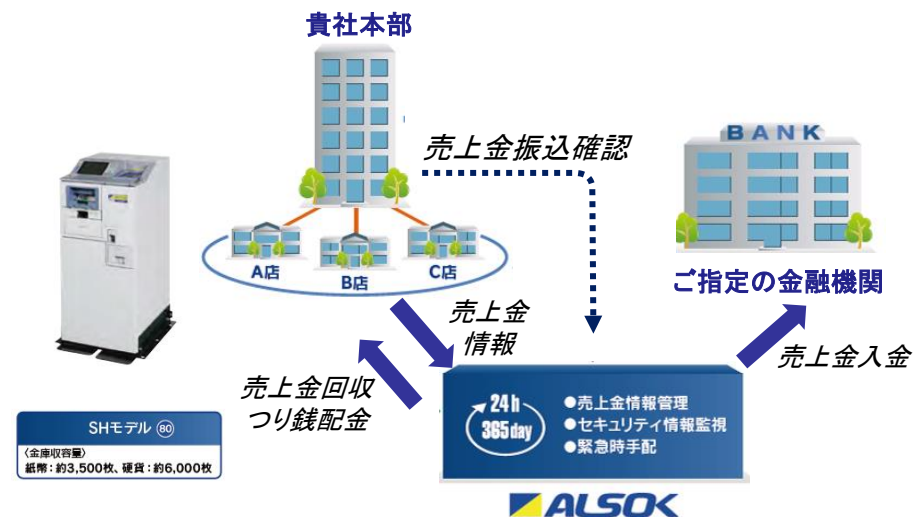
ICTを利用し正確な現金需要予測。より効率的な警備輸送を実現

## 稼働率99.9% 世界一とまらないATM



ATM警備に加え、ブース運営、障害対応、現金補充など、ATM運営に必要な業務をワンストップで提供。

## 入金機オンラインシステム



売上金の計算、保管、口座振込みをワンパッケージ。現金処理に係る要因を精進化しコスト削減に効果を発揮

## ■ 身辺警護、緊急通報サービス:子供・女性・高齢者等の見守り



身辺警護



モバイル端末などを活用し身近な犯罪から個人を守るセキュリティサービスの提供

### まもるっく

お年寄りの転倒や徘徊、女性・子供の安全など、個人を守る、通話機能・GPS・加速度センサーを備えた多機能モバイルセキュリティ端末



### レディースサポート

女性限定のストーカー対策サービスとして必要な警備サービスをパッケージ化



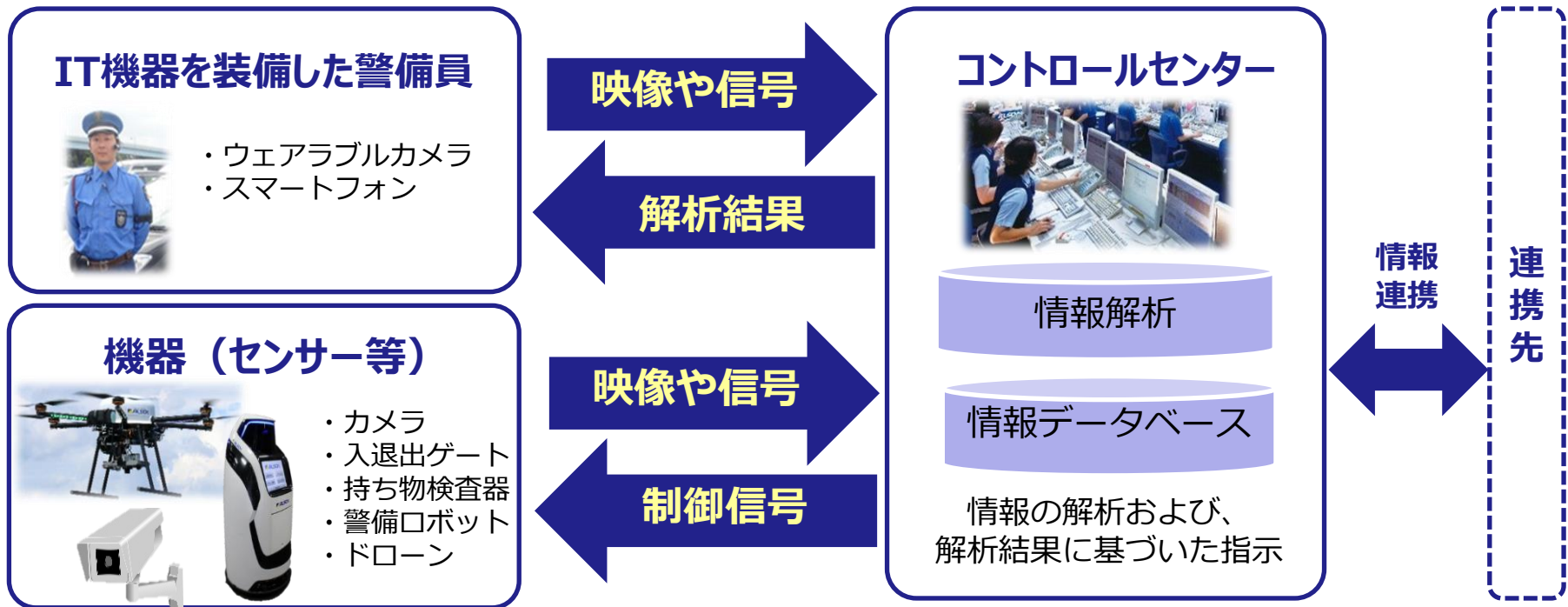
### アルボeye





## 2. 先端技術を活用した警備サービス

- 警備員とICTを組み合わせ、空間・雑踏に対する警備を高度化
- 商業ビルなどの施設や大規模イベントに対して、高品質な警備サービスとコストの最適化を実現



### 3. 「警備」の枠を超えたソリューション

# ■「警備」の枠を超えたソリューション



有害鳥獣捕獲代行業務



苗木防護柵の巡回監視  
(試験中)

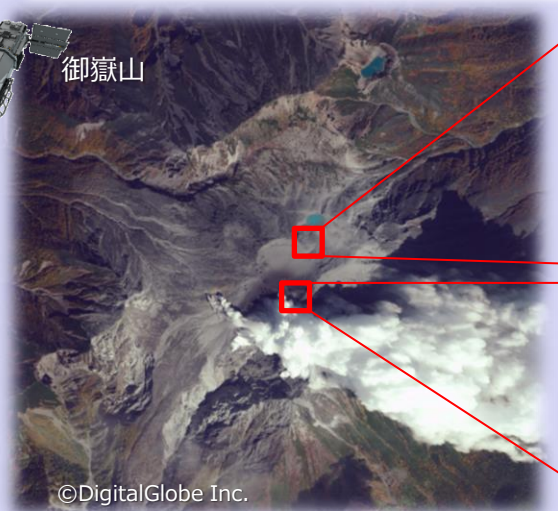


ソーラーパネルの点検業務

## ALSOK空撮サービス



御嶽山



©DigitalGlobe Inc.



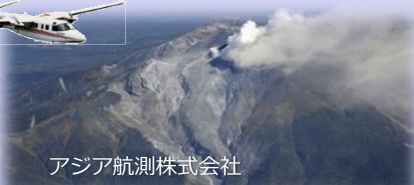
©DigitalGlobe Inc.



©DigitalGlobe Inc.



アジア航測株式会社

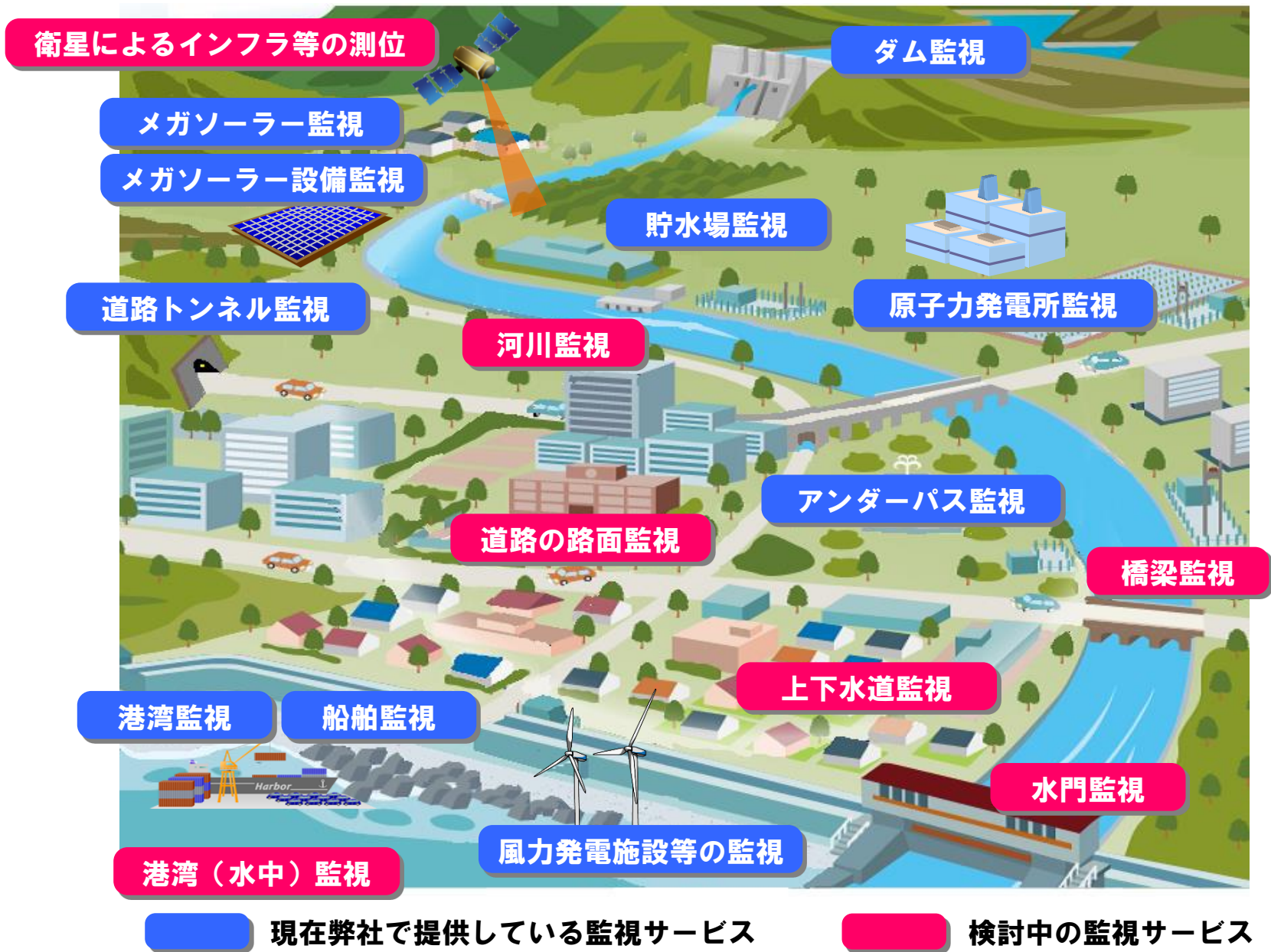


株式会社ヘキサメディア

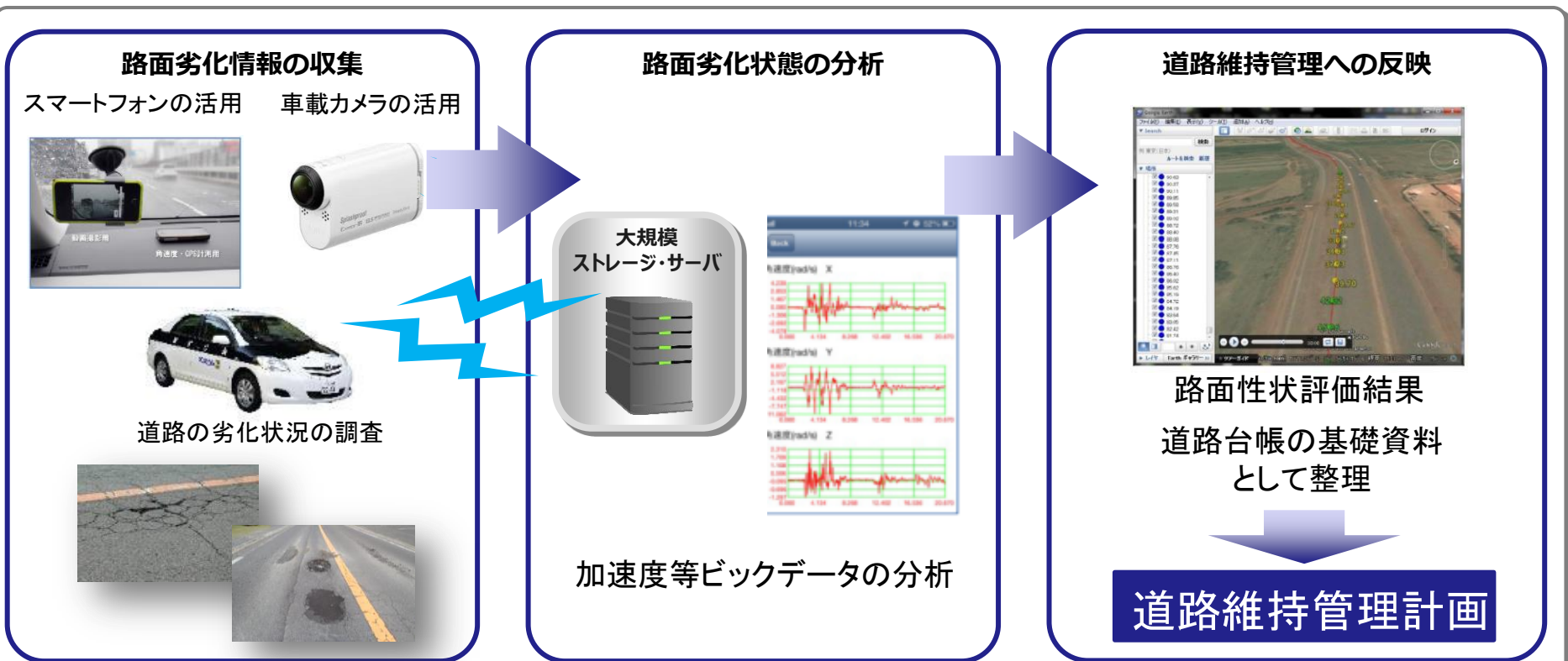
## 火山災害対策ソリューション



## EV・水素ステーション向けソリューション



- 小規模な地方自治体では、路面の凸凹等異常状態の把握が困難であり、適切な維持管理が課題
- 日常の車両走行を活用し、路面の劣化状態を分析・把握することで適切な維持管理に資するサービスを提供

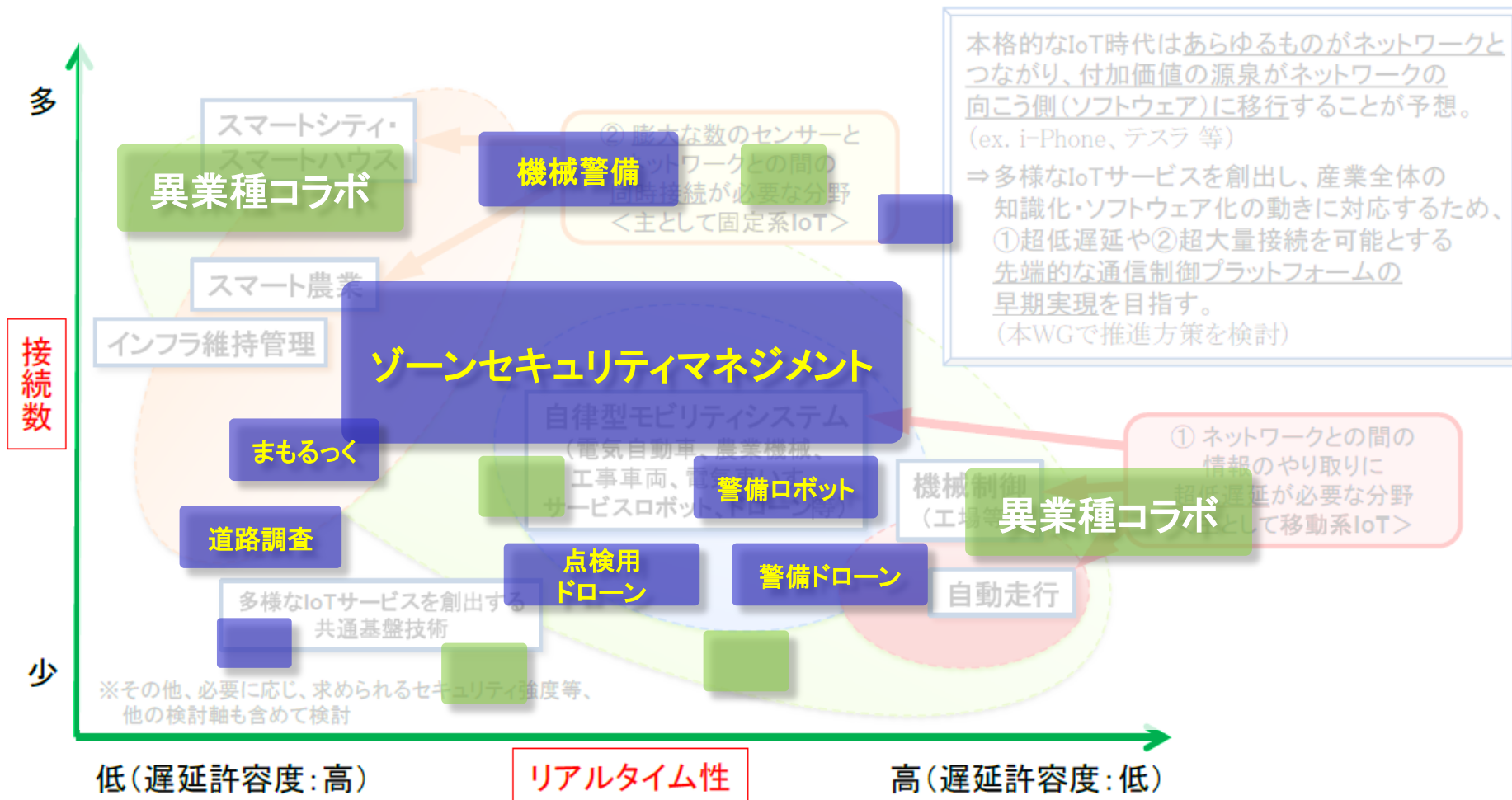


【内閣府のSIP(戦略的イノベーション創造プログラム)】 関連: 東京大学、JIPテクノサイエンス㈱、他

○ 案件名「インフラ予防保全のための大規模センサ情報統合に基づく路面・橋梁スクリーニング技術の研究開発と社会実装」

## 4. 本WGに期待すること

- 警備分野では、固定、移動を問わずIoTの活用がサービスの高度化と密接に関連
- 異業種とのコラボにより、より幅広い領域で新しい価値を創出





生活安全産業として広範な安全安心サービスを提供できるよう、警備業と親和性の高い業界とのコラボレーションを推進しイノベーションを創出



※FM ファシリティーマネジメント

